

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年7月3日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|---|-------|-----------|
| 事業所番号 | 893100032 | | |
| 法人名 | (株)スマイルタウン | | |
| 事業所名 | スマイルタウン | | |
| 所在地 | 東茨城郡茨城町長岡 3 9 6 8 - 2 (電 話) 029-292-6511 | | |
| 評価機関名 | 社会福祉法人茨城県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 水戸市千波町 1 9 1 8 茨城県総合福祉会館内 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年2月8日 | 評価確定日 | 平成20年7月3日 |

【情報提供票より】 (平成20年1月12日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|------------|--------|------------------------|
| 開設年月日 | 平成19年4月20日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 6 人 | 常勤 | 3人, 非常勤 2人, 常勤換替 3.3 人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|--------|---------|--|
| 建物構造 | 造り | | |
| | 1 階建ての | ～ 1 階部分 | |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|----------|----------------|----------|
| 家賃(平均月額) | 36,000 円 | その他の経費(月額) | 円 |
| 敷 金 | 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 250 円 | 昼食 450 円 |
| | 夕食 | 350 円 | おやつ 50 円 |
| | または1日当たり | | 円 |

(4) 利用者の概要(平成20年1月1日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 4 名 | 女性 | 5 名 |
| 要介護1 | 2 | 要介護2 | 1 | | |
| 要介護3 | 3 | 要介護4 | 2 | | |
| 要介護5 | 1 | 要支援2 | 0 | | |
| 年齢 | 平均 78.6 歳 | 最低 | 68 歳 | 最高 | 85 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|--------------------|
| 協力医療機関名 | 桜ヶ丘病院・林整形外科・大串歯科医院 |
|---------|--------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

笑顔のある町づくりをして社会貢献したいという想いから「スマイルタウン」が誕生。
職員の子連れ出勤を認め、利用者の中で一緒に過ごしている。
小さい子供がいることで利用者に活気が生まれ、子ども連れの家族の面会も増え笑顔も増えた。
管理者、職員は利用者一人ひとりの意向や希望を大切にしており、その人がその人らしく暮らせるよう支援している。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 今回は初回の外部評価であり、該当なし。 |
| | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 初回の自己評価及び外部評価であり、全職員で取り組むまでには至らず、次回に期待する。 |
| 重点項目② | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 利用者や家族・地域の住民代表・協力医療関係者・町の担当者等をメンバーとして運営推進会議を開催している。 運営推進会議では事業所の行事や現状報告を行い、出された意見や要望を職員会議で話し合い、改善に向け取り組んでいる。 町の担当者とメールや面談等で連絡を密にとり相談している。 |
| 重点項目③ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 月1回は家族参加の行事を企画し、毎月発行のホームたより等で利用者の日々の様子を報告している。 面会や運営推進会議に参加している家族が多く、出された意見をミーティング等で話し合い支援に反映させている。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会や地域のお祭りに参加したり、近隣の農家から野菜を頂くこともある。 |

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|--|----------------------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 事業所名の由来である、「住み慣れた地域で安心して笑顔で暮らせる」との事業所独自の理念をつくりあげている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 全体会議等で理念の実践に向け、話し合い・確認をして日々取り組んでいる。 理念を玄関に掲示している。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会や地域のお祭りに参加したり、近隣の農家から野菜を頂くこともある。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 初回の自己評価及び外部評価であるため、全職員が意義を理解するには至らず、一部の職員で自己評価を作成している。 | ○ | 全職員で自己評価に取り組み、評価の意義を理解するとともにケアの向上に向け実践することを期待する。 |

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|----------------------|-----------------------------------|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 利用者や家族・地域の住民代表・医療関係者・町の担当者等の参加で運営推進会議を開催している。 運営推進会議では事業所の行事や介護状況の報告、「ヒヤリハット」も含めた事故報告等を行い、出席者より出た意見・要望をサービス向上に活かしている。 | | |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市の担当者とメールや面談等で連絡を密にとり相談している。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | 月1回は家族参加の行事を企画したり、毎月発行しているホーム便り等で利用者の日々の様子を報告している。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 面会や運営推進会議に参加している家族が多く、出された意見をミーティング等で話し合い支援に反映させている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 運営者は働きやすい職場づくりに努め、離職による利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 | | |

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 月1回の全体会議の30分間を研修と定め、救急救命や感染症等その時期に応じた研修を行っている。 職員自ら目標を立て実現に努めている。 研修の内容や報告等を記録するまでには至っていない。 | ○ | 外部・内部研修の記録や報告書作成が望まれる。 |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム連絡協議会に加入している。 また、近隣の同業者と情報や意見交換を行い、利用者と共に訪問し行事に参加することもある。 | | |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 家族と相談の上本人と面接を行いサービスを開始しているが、馴染んでから利用するまでには至っていない。 | ○ | 利用者本人が徐々に馴染みながらサービスを開始できるよう工夫することが望まれる。 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 料理や野菜の作り方を教えてもらったり、利用者の笑顔に励まされることもある。 | | |

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------|----------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 家族からの情報や日々のかかわりの中で、本人の希望や意向の把握に努めている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 利用開始にあたり、本人・家族・必要な関係者とよく話し合い、問題点や課題にそった介護計画を作成している。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 日々の状況観察・記録・申し送り等を活用し状況変化に対応している。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 本人や家族の状況・要望に応じて、通院・外出介助・家族の宿泊支援等を行っている。 | | |

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|----------------------|--|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 協力医療機関以外でも、本人や家族の希望する医療機関と連携し、受診支援を行っている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化した利用者の家族・医療関係者と十分話し合いを行っている。 職員も利用者の状態を理解しているが、マニュアルや意思確認書等を整えていない。 | ○ | 重度化や終末期に向けたマニュアル及び、本人や家族の意思確認書等の作成が望まれる。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 管理者・職員は日々の関わりの中で、個人情報の取り扱い等利用者のプライバシーを損ねない対応に留意している。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 食事や入浴・外出等利用者本人の意向や希望を聞いて柔軟に対応している。 | | |

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|------|---|--|----------------------|----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者一人ひとりの好みや状態に配慮した献立で、職員と一緒に会話を楽しみながら食事をしている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 利用者一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を支援し、状態に応じてリフトも使用している。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 生活歴を活かし洗濯物たたみ・食事の準備・行事の手伝いや、天気の良い日には散歩やウッドデッキでお茶を飲む事もある。 張り合いをもって楽しく過ごせるよう支援している。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 買物や散歩・外食等希望にそって支援している。 選挙の時は投票への支援もしている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 安全を考慮して玄関はオートロックのドアを使用し、外部からは自由に入れない構造になっている。 居間の側面は大きなガラス戸で、ウッドデッキや中庭にいつでも自由に出られるよう鍵はかけていない。 | | |

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------|--|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年2回消防訓練を実施し隣接の民家へ連携依頼を行っている。 防災マニュアル作成や非常食等の準備には至っていない。 | ○ | 防災マニュアルを作成し、誰でもわかるように保管場所の設定、災害に備えた非常食等の準備を望む。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 利用者一人ひとりの食事摂取量・水分量を記録するとともに、栄養バランスにも配慮している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 床は音・目印・清潔等に配慮した材質を使用して適度な室温を保ち、居心地よく過ごせる工夫をしている。 壁に利用者の作品や写真を展示し、写真は家族が自由に持ち帰りができるようになっている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者は使い慣れた物品を持ち込み、家族の写真や花を飾るなど落ち着いた居室となっている。 面会時に宿泊する家族もいる。 | | |

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。